

保護者のみなさまへ

# 特別支援教育の理解のために



## 障害児教育から特別支援教育へ

平成19年度から特別支援教育がスタートしました。

特別支援教育では、従来の障害種別に加え、通常の学級に在籍する発達障害（LD、ADHD、高機能自閉症等）を含め、障害のある全ての子どもたちに対して、適切な指導、必要な支援を行う教育を進めていきます。

支援が必要な子どもたちの教育的ニーズに適切に対応するためには、学校、保護者一人ひとりがこれらの子どもたちについて理解を深めることが大切です。

伊丹市教育委員会

## LD・ADHD・高機能自閉症等とは？

### LD（学習障害）

全般的な知的発達に遅れはありませんが、聞く、話す、読む、書く、計算する、または推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態をいいます。

### ADHD（注意欠陥多動性障害）

年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、または衝動性・多動性を特徴とする障害であり、社会的な活動や学校生活を営む上で著しい困難を示す状態のことをいいます。

- 【不注意】：気が散りやすい。気持ちを集中させて努力し続けなければならない課題を避ける。など
- 【多動性】：授業中や座っているべき時に席を離れてしまう。過度にしゃべる。など
- 【衝動性】：質問が終わらないうちに出し抜けに答えてしまう。順番を待つのが難しい。など

### 高機能自閉症等

3歳位までに現れ、知的発達の遅れを伴わない自閉症をいいます。

- 【人への反応やかかわりの乏しさ、社会的関係形成の困難さ】
  - ・いろいろな事を話すが、その時の状況や相手の感情、立場を理解しない。など
  - 【言葉の発達の遅れ】
    - ・含みのある言葉の本当の意味が分からず、表面的に言葉通りに受け止めてしまうことがある。など
    - 【興味や関心が狭く特定のものにこだわる】
      - ・自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる傾向が強い。など
- アスペルガー症候群とは、知的発達の遅れを伴わず、かつ、自閉症の特徴のうち言葉の発達の遅れを伴わないもの。

このような子どもたちが示す学習や行動上の特徴を単に親のしつけや本人の性格等に起因するものと捉えず、なぜそのような言動をするのか、その背景を理解して適切な教育的支援を行っていきます。

これはあくまでも主な特徴であり、医師等の心理学的、医学的な観点からの詳細な検査が必要です。

## 学校での取り組み

### 《校内委員会の設置》

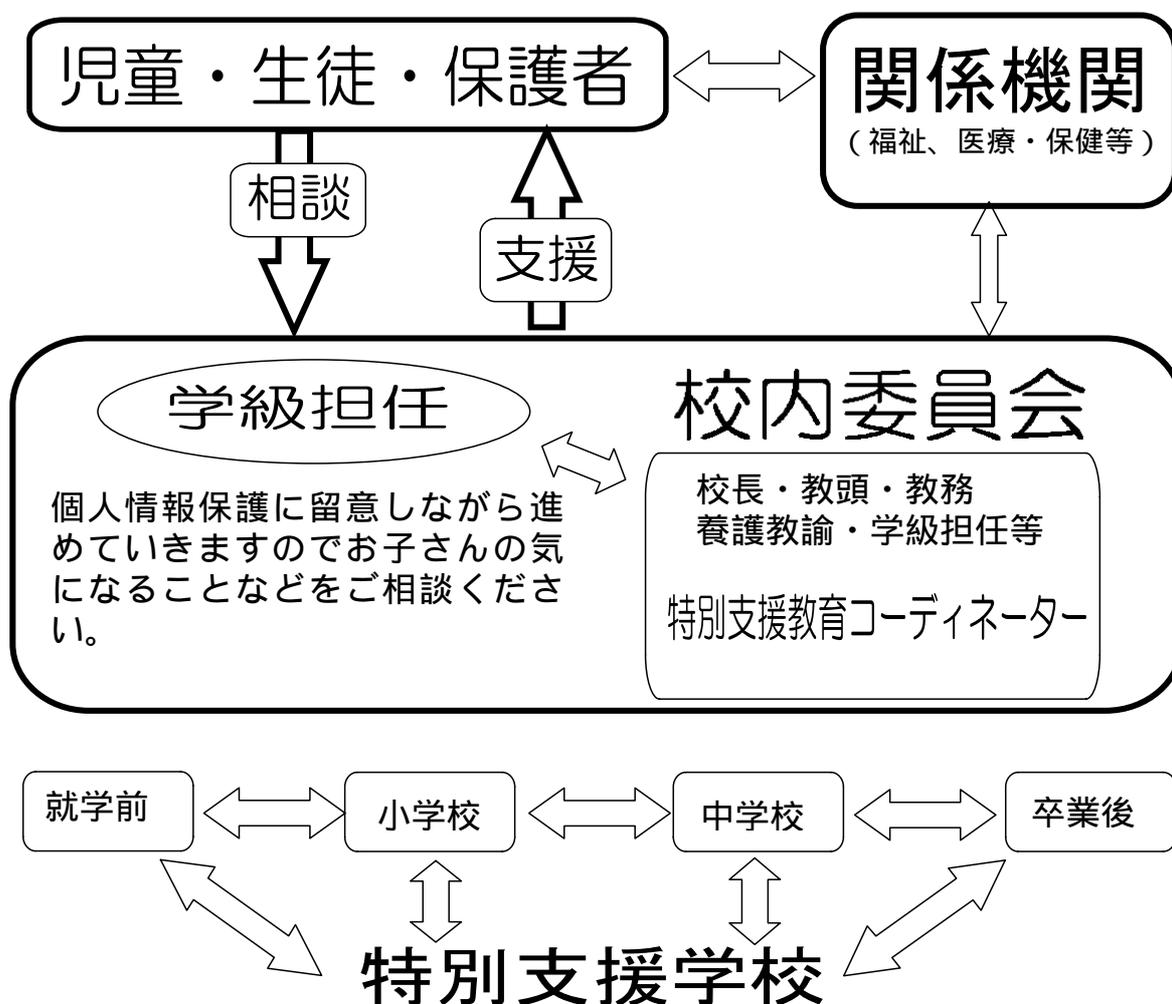
特別支援教育では、組織的な支援体制をつくることが大切で、担任など一部の教師が担当するのではなく、学校全体ですすめる必要があります。

そこで、全小・中学校に特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を設置し、実態把握、支援方法などを話し合います。

### 《特別支援教育コーディネーター》

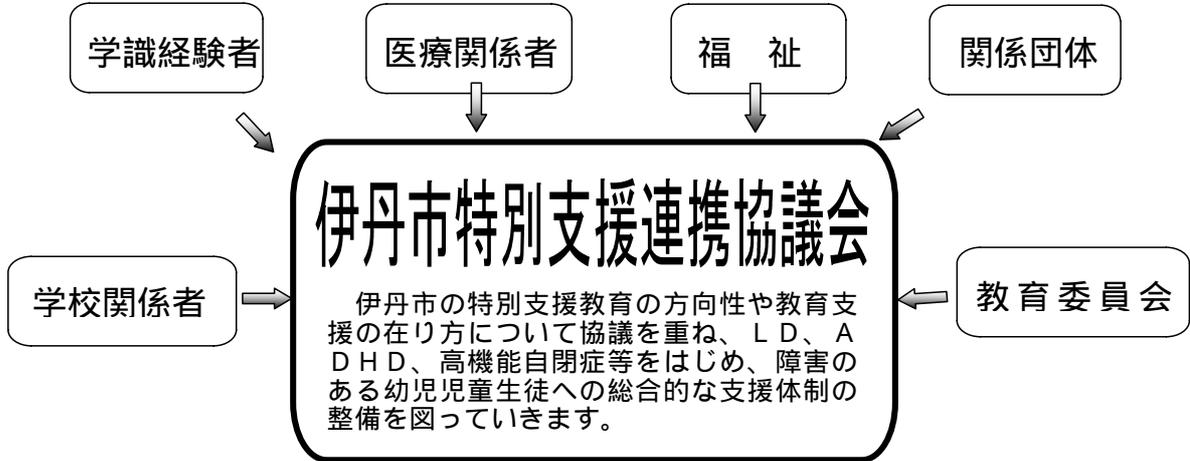
校内で中心となって特別支援教育を推進していきます。学校内及び関係機関との連携調整を行います。

### 《学校として支援体制づくりを進めていきます》



前年度行われた指導、支援の内容や方法を引き継ぎ、一貫した指導を行っています。

# 関係機関の連携



お子さまのことで、困っていることや悩んでいることに専門的に  
お答えいたします。

## 《友達ができにくい》

- ・相手の気持ちに気づきにくいのかな？
- ・順番が待てないんだけど・・・
- ・遊びのルールがわからないのかな？



## 《勉強がわかりにくい》

- ・簡単な計算まちがいが多いなあ
- ・本読みがいつまでも拾い読みのまま  
なんだけど・・・

下記の場所にて相談を受け付けています。

伊丹市立総合教育センター【各種相談・ことばの教室】 780-2484

伊丹養護学校 【教育相談】 783-5436

川西こども家庭センター【発達や障害についての相談】 756-6633

